事務事業評価シート

作成：総務課秘書広報係

(1)事務事業	秘書一般事務費				
(2)根拠 (法令、 計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・野木町長等の給与及び旅費に関する条例 ・野木町職員等の旅費に関する条例 ・野木町職員等の旅費支給規則 ・町長交際費支出基準 				
(3)事務事業 目的	町政の円滑な運営や執行を図るため町長・副町長の公務を適切に管理し、町を代表して行う表敬や交際関係事務、指示事項の調査や関係機関等との調整を図り、的確な判断及び円滑な施策実施ができる環境を整える。				
(4)事務事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・町長及び副町長のスケジュール調整・スケジュール表作成 ・町の交際上並びに町長の公務執行上必要となる交際費の適正な執行管理及び公表 ・町長関係機関訪問時の随行業務 ・来客接待 ・町の後援に関する業務 				
(5)対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関首長等 ・国会議員、県議会議員 ・町内企業代表等 他 				
(6)成果指標	成果指標 1：町長・副町長が効率的に公務を執行できた割合				
(7)活動指標	活動指標 1：交際費の支出件数 活動指標 2：年賀はがき発送件数 活動指標 3：関係会議出席件数				
(8)目標達成状 況		単位	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
	成果指標 1	[%]	100.00	100.00	100.00
	成果指標 2	[]			
	活動指標 1	[件]	50	59	89
	活動指標 2	[件]	253	253	210
	活動指標 3	[件]	0	2	4
(9)成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・正副町長のスケジュール管理のほか、関係団体との調整等を滞りなく進めることができた。 ・年賀状送付先の見直しを行い、役務費の削減を行った。(R4：15,939円、R5：13,230円) 				

〔単位：千円〕

		No.	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			実績	実績	実績
(10) コスト分析	財源内訳	国庫支出金	①		
		県支出金	②		
		地方債	③		
		その他	④		
		一般財源	⑤	1,314	1,431
	事業費	⑥	1,314	1,431	1,449
	人件費	⑦	10,240.0	10,251.4	10,397.0
	正職員数	⑧	1.8	1.8	1.8
	トータルコスト ⑥+⑦	⑨	11,554.0	11,682.4	11,846.0
	住民基本台帳人口	⑩	25,233	25,099	24,960
	町民一人当たりのコスト ⑨/⑩〔単位：円〕	⑪	457.9	465.5	474.6

〔単位：千円〕

(11) 事務事業達成のための細事務事業	No.	名称	財源 (R5)	事業費 (R5)	コスト削減 可能性
	1	普通旅費	一般財源	167	無
	2	交際費	一般財源	677	無
	3	消耗品費	一般財源	29	無
	4	食糧費	一般財源	49	無
	5	印刷製本費	一般財源	70	無
	6	年賀はがき	一般財源	13	無
	7	広告料等	一般財源	330	無
	8	関係会議	一般財源	24	無
	9	しもつけ21フォーラム	一般財源	90	無
	10				

(12)細事務事業に係る考察	<p>交際費は「町長交際費支出基準」に基づく支出を行い、毎月精算を行っている。</p> <p>年賀はがきについては、送付先の精査等により数量の減に努めてはいるが、郵送料の値上げ等によりコスト削減は難しいと思料。</p> <p>その他のコストについても町政の円滑な運営や執行を図るため必要な経費であり、削減は困難である。</p>	
(13) 評価	今後の方向性	維持
	<p>現状の内容を維持しながら、交際費の適切な支出や郵送物の送付要否等の精査に努め、町長・副町長が円滑な公務執行ができるよう事業を進めていく。</p>	

事務事業評価シート

作成：総務課秘書広報係

(1)事務事業	諸費一般事務費				
(2)根拠 (法令、 計画)					
(3)事務事業 目的	町内の団体や政財界等の代表に集まっていただき、年始において町政への深い理解とまちづくりへの協力を得るとともに、幅広い情報交換の場として参加者同士の交流を深めてもらい、町及び各界のさらなる飛躍を期待する。				
(4)事務事業 内容	町内の団体や政財界等の代表を招き、エニスホールにて新年のあいさつ交歓及び情報交換として交歓会（飲食有り・アルコールなし）を開催。				
(5)対象者	国会議員、県議会議員、町団体代表、町幹部職員等				
(6)成果指標	成果指標 1：参加者数				
(7)活動指標	活動指標 1：開催回数 活動指標 2：招待状発送数				
(8)目標達成状 況		単位	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
	成果指標 1	〔人〕	0	0	161
	成果指標 2	〔 〕			
	活動指標 1	〔回〕	0	0	1
	活動指標 2	〔通〕	383	80	399
	活動指標 3	〔 〕			
(9)成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度及び4年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止（中止の旨の通知発送）。 ・令和5年度については招待状発送者のうち約40%の方が参加。 				

〔単位：千円〕

		No.	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			実績	実績	実績
(10) コスト分析	財源内訳	国庫支出金	①		
		県支出金	②		
		地方債	③		
		その他	④		
		一般財源	⑤	21	12
	事業費	⑥	21	12	238
	人件費	⑦	1,137.8	1,139.0	1,155.2
	正職員数	⑧	0.2	0.2	0.2
	トータルコスト ⑥+⑦	⑨	1,158.8	1,151.0	1,393.2
	住民基本台帳人口	⑩	25,233	25,099	24,960
	町民一人当たりのコスト ⑨/⑩〔単位：円〕	⑪	45.9	45.9	55.8

〔単位：千円〕

(11) 事務事業達成のための細事務事業	No.	名称	財源 (R5)	事業費 (R5)	コスト削減 可能性
	1	賀詞交換会案内はがき	一般財源	48	無
	2	町賀詞交歓会負担金	一般財源	190	無
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				

(12)細事務事業に係る考察	賀詞交換案内はがきについては、送付先の精査等により数量の減に努めてはいるが、郵送料の値上げ等によりコスト削減は難しいと史料。 町賀詞交歓会負担金（商工会が事務局となり町は負担金を支出）についても、物価高騰等の影響によりコスト削減は難しいと史料。	
(13) 評価	今後の方向性	維持
	賀詞交歓会は町の新年行事として定着化しており、町政への深い理解や幅広い情報交換の場として非常に有意義なものとなっているため、内容等の精査によりコスト増加を抑えつつ、継続して実施していきたい。	

事務事業評価シート

作成：総務課秘書広報係

(1)事務事業	広報発行事業				
(2)根拠 (法令、 計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・野木町広報広聴規則 ・野木町広報広聴活動運営規程 				
(3)事務事業 目的	町民生活に関する情報や町の魅力、まちづくりを町内外へ発信することで、町政の見える化を推進するとともに、町政への信頼・関心を高め、町政への参画、更には協働を促進する。加えて、町イメージの向上、野木町への愛着の醸成を図り、集客交流の促進、人口誘導に寄与する。				
(4)事務事業 内容	各課から提出された原稿を取りまとめ、広報委員会にて掲載の可否について協議する。紙面の割付、レイアウトを行い、校正（3回）を行う。納品後、町民には自治会使送で、各種団体・企業等には郵送にて発送する。				
(5)対象者	すべての町民				
(6)成果指標	成果指標 1：広報の配布回数				
(7)活動指標	活動指標 1：広報の発行回数				
(8)目標達成状 況		単位	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
	成果指標 1	〔回〕	12	12	12
	成果指標 2	〔 〕			
	活動指標 1	〔回〕	12	12	12
	活動指標 2	〔 〕			
	活動指標 3	〔 〕			
(9)成果・効果	<p>広報紙は毎月同じ部数を各世帯等に配付するため、数字で成果を表すことは難しいが、広報紙で各課イベント等の周知を行うことにより集客率の増加・町政への参画を促進することができ、町内の情報発信ツールとして一定のニーズはあると考えている。</p>				

〔単位：千円〕

		No.	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			実績	実績	実績	
(10) コスト分析	財源内訳	国庫支出金	①			
		県支出金	②			
		地方債	③			
		その他	④	0	691	206
		一般財源	⑤	4,526	3,833	4,892
	事業費	⑥	4,526	4,524	5,098	
	人件費	⑦	5,688.9	5,695.2	5,776.1	
	正職員数	⑧	1	1	1	
	トータルコスト ⑥+⑦	⑨	10,214.9	10,219.2	10,874.1	
	住民基本台帳人口	⑩	25,233	25,099	24,960	
	町民一人当たりのコスト ⑨/⑩〔単位：円〕	⑪	404.8	407.2	435.7	

〔単位：千円〕

(11) 事務事業達成のための細事務事業	No.	名称	財源 (R5)	事業費 (R5)	コスト削減 可能性
	1	印刷製本費	一財・雑入	5,098	無
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				

(12)細事務事業に係る考察	掲載内容等の精査によりページ数削減を行ってはいるものの、物価高騰等の影響により支出額は前年度比で574千円の増となっており、今後も契約単価の増が見込まれるためコスト削減は難しいと史料。	
(13) 評価	今後の方向性	維持
	総合計画の「多様な広報広聴活動の推進」に結びつく事業であり、町の情報発信を行うために必要なツールとして、引き続き広報紙の発行を行う。ページ数の削減等には取り組んでいるものの、物価高騰等の影響によりコスト削減は難しいと史料。今後も、HPやSNS等への掲載移行や慢性的な掲載内容の取りやめ、レイアウト改変等により掲載内容の精査を行い、コスト増加を抑制し、継続して事業を進めていく。	

事務事業評価シート

作成：総務課秘書広報係

(1)事務事業	ホームページ管理事業				
(2)根拠 (法令、 計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・野木町公式ホームページ管理運用基準 ・野木町広報広聴規則 ・野木町広報広聴活動運営規程 				
(3)事務事業 目的	町民が必要とする町民生活に関する情報や災害情報等を誰でも容易に即時取得でき、住民サービスの向上や広報活動の場として利用してもらう。				
(4)事務事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各課からの依頼に応じ、町ホームページ修正・更新・公開等を行う。また、町ホームページの見やすさを向上させるため、各ページの整理を行い、入り口を最小限にすることで閲覧者が情報にすぐたどりつけるよう配慮する。 				
(5)対象者	インターネット利用者				
(6)成果指標	成果指標 1：HP総アクセス数				
(7)活動指標	活動指標 1：ホームページ掲載依頼件数				
(8)目標達成状 況		単位	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
	成果指標 1	〔回〕	1,969,015	2,048,972	1,908,028
	成果指標 2	〔 〕			
	活動指標 1	〔件〕	0	527	933
	活動指標 2	〔 〕			
	活動指標 3	〔 〕			
(9)成果・効果	<p>令和4年9月からホームページ掲載依頼件数を集計開始。月平均70件以上の依頼に対し掲載を行うことで、年間で約200万回のアクセス数がある。</p> <p>閲覧者数が増えることで、町民生活に関する情報の発信を多くの方にでき、町知名度の向上、及び観光客・転入者の増加に資する。</p>				

〔単位：千円〕

		No.	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			実績	実績	実績
(10) コスト分析	財源内訳	国庫支出金	①		
		県支出金	②		
		地方債	③		
		その他	④		
		一般財源	⑤	904	919
	事業費	⑥	904	919	913
	人件費	⑦	4,551.1	4,556.2	4,620.9
	正職員数	⑧	0.8	0.8	0.8
	トータルコスト ⑥+⑦	⑨	5,455.1	5,475.2	5,533.9
	住民基本台帳人口	⑩	25,233	25,099	24,960
	町民一人当たりのコスト ⑨/⑩〔単位：円〕	⑪	216.2	218.1	221.7

〔単位：千円〕

(11) 事務事業 達成の ための 細事務 事業	No.	名称	財源 (R5)	事業費 (R5)	コスト削減 可能性
	1	ホームページ管理業務	一般財源	913	無
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

(12)細事務 事業に係 る考察	平成29年度から長期継続契約（随意契約）とし、コストの縮減に努めているが、物価高騰や人件費の増等により委託費用が増加する見込みであり、コスト削減は困難であると思料。なお、デザインリニューアルやLINEとの連携については現契約内に含まれているため、保守・管理委託内容の精査も難しい状況である。
(13) 評価	今後の方向性
	維持 インターネット上での野木町の顔となるホームページは、魅力的で、見やすく分かりやすい、更にはリアルタイムで情報の更新を行っていくことが重要であり、加えて総合計画内「時代に即応した情報のまちづくり」に位置づけられるため、現状の管理・運用を維持しつつ、リニューアル等によりアクセシビリティの向上を図り、町民サービスに寄与するよう努める。

事務事業評価シート

作成：総務課秘書広報係

(1)事務事業	広報一般事務費				
(2)根拠 (法令、 計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・野木町広報広聴規則 ・野木町広報広聴活動運営規程 ・野木町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例 				
(3)事務事業 目的	<ul style="list-style-type: none"> ・町内各地区からそれぞれ広報連絡委員を12名を選任し、町が実施する広報広聴活動を充実させ、町民参加のまちづくりを推進する。 ・漫画家であり町観光大使である赤羽みちえ先生に広報紙への執筆を依頼することで、町民の町への関心を集め、親しみやすさを感じてもらい、町政情報の波及に寄与する。 				
(4)事務事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・広報連絡委員に対して広報紙掲載に係る原稿依頼、定例打合せ会への参加、町の話題や行事などの情報提供などの連絡調整、研修（隔年）の実施、委員報酬の支払い ・広報のぎ「のぎっ子通信」の原稿執筆依頼及び掲載（赤羽みちえ先生） 				
(5)対象者	広報連絡委員、野木町観光大使 赤羽みちえ様				
(6)成果指標	成果指標 1：レポート掲載回数 成果指標 2：レポート以外の情報提供件数 成果指標 3：研修参加者数（隔年実施）				
(7)活動指標	活動指標 1：定例打合せ会意見交換回数				
(8)目標達成状 況		単位	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
	成果指標 1	〔回〕	12	12	12
	成果指標 2	〔件〕	0	2	2
	成果指標 3	〔人〕	-	-	4
	活動指標 1	〔回〕	-	2	2
	活動指標 2	〔 〕			
(9)成果・効果	年2回程度の定例打合せ会の実施や、任期中1回のレポート提出・広報への掲載等により、委員同士の情報交換や地域の情報収集、地域イベントの情報発信を行い、町民参加のまちづくり推進に寄与している。しかしながら、イベント情報等の提供数や委員同士の交流をはかる研修への参加者が少ないこと等を踏まえると、広報連絡委員の在り方について検討すべきである。				

〔単位：千円〕

		No.	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			実績	実績	実績
(10) コスト分析	財源内訳	国庫支出金	①		
		県支出金	②		
		地方債	③		
		その他	④		
		一般財源	⑤	365	600
	事業費	⑥	365	600	866
	人件費	⑦	1,137.8	1,139.0	1,155.2
	正職員数	⑧	0.2	0.2	0.2
	トータルコスト ⑥+⑦	⑨	1,502.8	1,739.0	2,021.2
	住民基本台帳人口	⑩	25,233	25,099	24,960
	町民一人当たりのコスト ⑨/⑩〔単位：円〕	⑪	59.6	69.3	81

〔単位：千円〕

(11) 事務事業達成のための細事務事業	No.	名称	財源 (R5)	事業費 (R5)	コスト削減 可能性
	1	広報連絡委員報酬	一般財源	396	有
	2	広報のぎ原稿執筆謝礼	一般財源	120	無
	3	消耗品費	一般財源	57	無
	4	食糧費	一般財源	3	無
	5	修繕料	一般財源	74	無
	6	自賠償保険料	一般財源	17	無
	7	検査手数料等	一般財源	2	無
	8	車検代行手数料等	一般財源	8	無
	9	デジタルカメラ	一般財源	148	有
	10	研修負担金	一般財源	5	無
	11	日本広報協会	一般財源	15	無
	12	広報連絡委員研修費	一般財源	12	有
	13	自動車重量税	一般財源	9	無

(12) 細事務事業に係る考察	<p>広報連絡委員については、年1回の広報レポートの提出及び2～3回程度の定例会への出席、通年での地域の話題提供などにご協力をいただいている。特に、町の広報業務に対する町民目線の意見を頂戴する貴重な場であることから削減は困難と考える。</p>	
(13) 評価	今後の方向性	維持
	<p>町の情報発信については、広報紙やホームページに加え、近年ではSNSも積極的に活用しており、対象者の年齢等も考慮しながら効果的なアプローチを行うよう心がけている。引き続き、広報連絡委員からの意見等も踏まえながら進めて参りたい。</p>	